

2019（令和元）年度

三草山ゼフィルスの森 保全事業報告

2019(令和元)年度 三草山ゼフィルスの森 保全事業報告

[2019(令和元)年度の主な事業内容]

1) 三草山ゼフィルスの森の更新・管理

- ① 大径木の生育地を中心に、更新作業を継続実施
一部の防火帯において34本伐採した。(資料1-3 A参照)
- ② ナラ枯れ被害木の駆除
2014(平成26)年度より被害が拡大していたが、当該地で被害が収まってきたため、今年度の実施は見合わせた。
- ③ 防鹿柵を設置した既萌芽更新地の林床の坪刈り管理
ゼフィルスの森の植生の順応的管理のために指標としているゼフィルス類やヒヨウモンチョウ類などのチョウ類の食樹や蜜源植物(ナラガシワ、コナラ、ヤマハンノキ、スマレ類、カラスザンショウ、イボタノキ、ヒヨドリバナ、ササユリなど)の生育環境を維持するため、一部ボランティア活動で実施した。(資料1-3 B参照)
- ④ 防火帯のササ刈払い(資料1-3 C参照)
1,600㎡の範囲を大阪府森林組合への委託により3月下旬に実施した。
- ⑤ 調査予定地ササ刈払い(資料1-3 D参照)
900㎡の範囲を大阪府森林組合への委託により3月下旬に実施した。
- ⑥ 伐採木の活用
伐採したクヌギ・コナラ・ナラガシワの木材をシイタケの槽木に有効活用した。
- ⑦ ナラガシワ・クヌギ・コナラ等の苗木を育成
萌芽更新の補完のため、ナラガシワの堅果をシードトラップにより採取し、麓の活動拠点で育成した。
- ⑧ 能勢みどりすとクラブによる定例的な保全活動の実施
定例活動35回、参加者339名
- ⑨ 巡回活動
地元の城好会に委嘱し、ゼフィルス類及びその生息環境としてナラガシワ林等の保全を図るうえで支障となる事態を早急に把握し、適切な対応を図るための巡回活動を実施した。(12回/年)



ナラガシワ堅果の回収 (11月24日)



シイタケの櫛木づくり (12月4日)

2) 調査・研究、教育の場、演習林としての活用

- ① 森林の更新に伴うゼフィルス類への影響及び植生や昆虫類への影響調査
 - ・ゼフィルス類等チョウ類のモニタリング調査 (日本鱗翅学会近畿支部)
6月16日(日) 参加者13名 ゼフィルス類ではヒロオビミドリシジミ、ウラミスジシジミ、ミズイロオナガシジミ、アカシジミ、ウラナミアカシジミの5種。それ以外のチョウ類では、クロヒカゲやヒメウラナミジャノメなどの11種のチョウ類が確認された。
 - ・ゼフィルスの森の植生調査 (大阪府立大学との共同研究)
8月17日(土)・19日(月) 参加者6名 (藤原研究室)
 - ・ゼフィルスの森の毎木調査 (大阪府立大学との共同研究)
3月31日(火) 参加者4名 (藤原研究室)
- ② 三草山ゼフィルスの森の研究助成制度の検討
ゼフィルスの森の生物多様性豊かな植生管理の検討に資する学術研究に対して助成する制度について検討した。
- ③ 自然観察会、森林体験学習の実施
 - ・ゼフィルス観察会の開催
6月16日(日) 参加者19名 (会員12名、非会員7名)
 - ・森人塾の開催
保全活動の担い手を募るため、みどりすと養成講座「森人塾」を開催
全8回の講座、受講生4名 三草山ゼフィルスの森のフィールド実習を2回実施した。
6月16日(日)、7月13日(土)
 - ・森林体験学習・三草山山麓に広がる棚田の保全体験学習
里地里山保全活動での関西大学第一中学校との連携を行った。
各学年約250名 3年生(10月31日(木))、2年生(4月24日(水))、1年生(3月11日(水)中止)

- ・夏休み地元小・中一貫校の児童・生徒の受入れ
8月7日（水） 参加者8名
- ・企業 CSR 活動受入れ（中止）
企業：京セラドキュメントソリューションズ株式会社
※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止



ゼフィルス観察会（6月16日）



藤原研究室による植生調査（8月19日）

3) 普及啓発

① シンポジウムの開催

「再発見！大阪の生物多様性ホットスポット 能勢の里山の魅力を語ろう、つなごう」 12月8日（日） 能勢高校で実施 参加者87名（会員22名、非会員65名）

【プログラム概要】

- ・対談 「能勢の里山にすむ珍しい生きものたち」
石井実・平井規央（大阪府立大学）
- ・投票 能勢の生きもの人気投票-NST- Nose Seibutsu Tayousei
～みんなで選ぶ★能勢の里山アイドル生物～
- ・パネル討論 「能勢の里山を未来に引きつぐには？」
パネリスト：石井実・平井規央・乾栄次（城好会）・
向井幸一（能勢高校）・湯浅淳子（大阪自然環境保全協会）
コーディネーター：飯野博道（大阪みどりのトラスト協会）
- ・パネル展示「能勢の里山と生物多様性」

② 麓の「タガメの田づくり」活動を通じた情報発信

このイベントを開催することにより、麓と山の持続可能な里地里山一体管理の必要性を参加者に紹介した。

5月19日（日） 田植え 参加者18名（会員4名、非会員14名）

9月29日（日） 稲刈り 参加者10名（会員2名、非会員8名）

12月1日（日） 冬支度（しめ縄づくり・餅つき）

参加者16名（会員3名、非会員13名）



「タガメの田づくり」での田植え
(5月19日)



能勢高校でのシンポジウム
(12月8日)

4) 災害等対応

2018年7月豪雨や9月の台風により、山腹崩壊や倒木が発生し、既設置の防鹿柵に大きな被害が生じたり、進入路が削れたりした。2019年度は、山腹崩壊地の被害拡大防止のため視察を行い、進入路の補修のための計測を行った。

5) 三草山ゼフィルスの森保全検討会議の開催（参考資料1参照）

2019年6月24日（月） 能勢町役場 西館3階第1会議室